

チーム目標

部・同好会		ヨット部			
目標		団体出場, 地方のレース上位に入る。 活動を通し, 協調性, 積極性, 時間厳守の精神 計画的に自分振り返りをする。			
問題分析		問題を解決するためにしなければならないこと			
優先順位	1	艇とセルの角度を合わせられていない。	なんとなくでなく, 周囲に気づけば, 考えながら帆走する。海面を丸見, 観察眼を養う。		
	2	積極性がなく, 作業も先延ばしである。	怠けていたところが注意する。		
	3	ノートがあまりつけられていない。	ノートをしっかりつけるように連絡する。部として全員で振り返る時間をつくる。		
	4	自分の課題や何が言えなかった。	他の人と一緒に帆走し何が違うのか考えるようにする。		
	5	レースの実際の技術が身につけていない。	スタート, マーク周りなど, 具体的な練習を多人数で行う。		
	6	レースに使う戦略が身につけていない。	長期的を見通してコースを選択する。帆走の理論を理解する。		
中期計画		中期目標を達成するためにすること			
<ul style="list-style-type: none"> 前回の練習を意識し改善する。 風に対する知識が数年に入る情報から風の変化を予測する。 体重を上手に使い, 艇を速く走らせることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> PDCAの習慣を身につけ, GOOD, BAD, NEXTの観点で反省する。 自分で考えながら練習変化を見られる。 ワーク, シイゴの反復練習を行い, 失速せず走らせるコツを経験が得る。 			
短期目標		短期目標を達成するためにすること			
<ul style="list-style-type: none"> ルールを理解し, 安全に乗艇できる。 自分で振り返り, 目標を設定できる。 風向, 風速に適した乗り方を身につける。 		<ul style="list-style-type: none"> 定期的にルール講習を行う。 練習毎にシートを付け, ミーティングで発表板。 座学を交えて練習を行い, 理論を理解し, 走ることを学ぶ。 			
顧問教員		[Redacted]			
遠征回数	公式戦	2	回	練習試合	4
					回

年間活動計画

(ヨット

部・同好会)

今年度の目標		将来、国体出場が狙えるようになる		
活動場所		松原海岸		
月	公式戦	活動内容・ねらい	練習試合等の計画	学校行事
4月		座学と重点的に行い海廷の扱い方を考える。		
5月		理論を意識し、基本的な動きを身につける。		
6月		風の変化を見かける観察力を伸ばす。		
7月		夏期休業中		夏期休業
8月		相手の位置に対応した動きを身につけた状況を維持する。		
9月		スタートでの有利サイドを考えたようにね。		
10月		戦略と戦術を使い、相手を不利サイドに追い込むようにね。		
11月		次のシーズンに向け、体力の強化を行う(持久力)		
12月		体力の強化(持久力)		
1月		体力の強化(持久力)		
2月		体力の強化(筋力)		
3月		冬期休業中		冬期休業